

町民ワークショップニュースレター

発行日
令和7年12月

第七次函南町総合計画策定のための WS が開催されました！！

今後 10 年間の町の総合的な指針である総合計画の策定にあたり、町民の皆様から、暮らし・健康（健康・福祉）分野での現状と課題、まちづくりの方向性・施策アイデアなどについてワークショップ（WS）形式で意見交換を行いました。WS は 4 つの部門ごとに 2 回ずつ開催することを予定し、今回は 1 回目の WS が開催されましたのでお知らせします。

日 時：令和7年10月22日（水）15:00～17:00
会議場所：函南町役場 2 階 大会議室
参 加 者：37名（事務局含む）



主な意見交換内容

5つのグループに分かれて、2つのテーマについて自由に意見交換をしました。主な内容は以下のとおりです。

検討テーマ① 「人がつながり、豊かで健康なまち」

カテゴリ	現状と課題	まちづくりの方向性、施策アイデア
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ参加・不参加の二分化 ・自治会の加入が少なく隣近所の付き合いが薄い ・リタイア後、社会参加しなくなる人が多い ・仕事に精一杯で余裕がない人が多い ・自分から行動しないと参加がなかなか難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・人と人が繋がる場：ふれあい広場でのイベントをもっと情報発信する ・町外から住むことになった人への周知 ・交流センター：年齢層でエリアを分けることで利用しやすくする ・同じ趣味を持つ者同士のコミュニティ作成
社会基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・町営またはフリーの駐車場がない ・中心部とそれ以外のアクセス環境の差（まちなかと山間部の差） ・町営の運動施設（ジム等）が少ない ・駅周辺の繁栄（店 等） ・ハードはあるが、活用しきれていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家・空き地活用 ・バスではなく自分のタイミング（時間）に合わせた移動が出来たらいい ・運動の場として空き家を借りてトレーニング ・児童も高齢者も使える複合施設（運動できるような） ・若者が集まるところをつくる（アリーナ、サーキット 等）
就業環境	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい担い手がない ・後継者がいない ・農業の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の活性化：子どもが見学できる機会をたくさん作って欲しい ・就職時に函南町に住んだら補助
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・独居の高齢者が増えている ・健康診断（特定健診）の受診率が低い ・障がいのある子どもを高齢の親が抱え込んでいる家庭が多い（どこにもつながりがない） 	<ul style="list-style-type: none"> ・身元保証事業 ・“補助金なんでも説明会”を開催する ・助成金の活用をもっと広くアピールする ・健診の期間をもう少し長くする ・一人で悩まない、抱え込まない
若者 子ども 子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊ぶところが少ない ・子どもの数が減少、働く子育て世代が増えている ・子育ての悩み事を気軽に話せるところが欲しい ・若い年代（18 歳以上の若年層）が少ない（東京志向） 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園ではないスケボー等で遊べる場をつくる ・ユートピアかんなみのプールを週に何回か子ども専用で使えないか ・子ども食堂いつでもどこでも ・若い世代が住みたくなる環境の整備政策 ・若者が車を買うときに補助する

検討テーマ② 「自分らしく健康で、幸せに暮らせるまち」

カテゴリ	現状と課題	まちづくりの方向性、施策アイデア
安全安心	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが安心して街を歩ける場所であって欲しい 夜に明かりがあればより明るい町になるかも 困りごと対応場所の周知（ワンペーパー等で連絡先を共有） 	<ul style="list-style-type: none"> 困りごとにすぐ対応してもらえる場所があれば（近所付き合いでも…） ボランティアや手助けでポイントを得られるようにして、ポイントを函南ブランドと交換 ちょっとボランティア（絶対参加しなきゃいけないわけではない）
健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> 車社会（歩かない） 運動できる公園が少ない（特にボールを使っての） 気軽に体を動かす場所がほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 万歩計アプリ、健康を数値化 やりたくなるような運動をイベントで企画（ウォークラリー等） 
就業シルバー	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な仕事で年をとっても働きたい（草取り、袋詰め、水やり） 畠が減っている、農家が減っている 	<ul style="list-style-type: none"> 「人財バンク」を作っていくんな体験の場を増やす、教えてもらう 農業をやりたい人を増やす→体験農業移住 移住定住してきたら支援、通勤額支援
食特産品	<ul style="list-style-type: none"> 食品商品の値上がり 飲食店の数（カフェ、飲み屋等）が少ない 町内で生産された食材を美味しく食べられるところを作る 	<ul style="list-style-type: none"> スーパー・マーケットが多いため、それぞれでお得な食品商品を提供する 地域の美味しい安い食堂カフェ
体の健康	<ul style="list-style-type: none"> （若者）健康になる=我慢することと考える人が多いと感じる 楽しく、健康づくりができるのか、自然と健康になることができないか 健康マイレージの周知 	<ul style="list-style-type: none"> 巨大リフレッシュ施設をつくりたい（運動からボディケアまで） 小さい子どもが遊ぶアスレチック等の施設が欲しい（サッカーや野球場はあるが） 川の堤防沿いに健康へのアドバイス的な案内
心の健康	<ul style="list-style-type: none"> 忙しくて健康を気にしないられない 子育て、介護の負担 自分自身より責任を重要視 	<ul style="list-style-type: none"> 異なる世代が好きなことでつながりを持つこと、社会参加 心が癒される場所をつくる 楽しい趣味を見つける（サークル参加）

アイスブレイク

ワークショップ開始前に皆さんの自己紹介を兼ねて函南町の好きなところ・魅力について聞いてみました。

●交通アクセス

伊豆方面の観光地にアクセスしやすい／首都圏へのアクセスが良い／交通の便がいい／伊豆縦貫道が便利

●自然

自然豊かなところ／函南町から見える富士山が綺麗／澄んだ空気／温泉がある／田・畠が身近にある／桜がきれいに見える場所がある

●食・名産品

函南すいかが美味しい／新鮮で豊かな食／丹那牛乳が好き／飲食店がある

●生活環境

ちょうどいい田舎／スーパーや薬局が多くある／物価が安い／オラッチャ／都会すぎないところ

●人

人が穏やかで優しい／あいさつができる子どもたちが多い／ボランティアをいっぱいやっている／人と人が近い

第2回 町民ワークショップの予定 <暮らし・健康（健康・福祉）分野>

日時：令和8年1月13日（火）13：30～15：30

場所：函南町役場 2階 大会議室、内容：具体的な施策や事業、重点的に取組みたいこと など